

(様式 1-3)

福島県田村市帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	22	事業名	農山村地域復興基盤総合整備事業 (復興整備実施計画) 永谷地区	事業番号	(5)-38-14
交付団体	福島県	事業実施主体 (直接/間接)	福島県 (直接)		
総交付対象事業費	21,700 (千円)	全体事業費	21,700 (千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>4 月に避難指示解除を受けた区域のある本市において、大震災以前は、地域農業者を中心に農業用施設並びに農用地の保全管理が行われてきたが、原子力災害やその風評被害の影響により、農業用施設を管理する地域農業者が減り、従前のようなきめ細やかな維持管理が不可能となり農業用施設の機能低下が進んでいる。また、農用地については、避難している住民が多いことから荒廃が進んでおり、営農再開に向けた取組と合わせ、担い手農家への農地利用集積並びに農村地域の活性化のための抜本的な営農計画の見直しや農業生産性の向上に努める必要がある。</p> <p>よって、本事業を導入することにより、被災農家を含めた地域住民の帰還促進や担い手農家への農地利用集積・農業経営の合理化を図り、風評被害の払拭並びに農村地域の再生加速化を目指すものである。</p>					
事業概要					
<p>本地区は、田村市船引町南部の阿武隈山系に位置しており、現況は未整備の 10a 程度のほ場で、農道は幅員が狭く、水路は用排兼用の土水路であるため、施設の維持管理に多大な労力を要するなど、極めて農業生産性の低い農業経営が行われている。</p> <p>このため、中山間地域総合整備事業を導入し、大区画ほ場や農道、用排水路の整備を行うことで、営農再建と担い手への農地利用集積を促し、もって地域復興の加速化を図るべく、実施計画策定を行う。</p> <p>また、ハード事業については、農山村地域復興基盤総合整備事業 (中山間地域整備事業) を予定している。</p> <p>受益面積 A=74.6ha (永谷 (ながや) 地区)</p> <p>【田村市復興ビジョン】</p> <p>VII-1 地域産業の再生</p> <p>(1) 農林業</p> <p>新たな担い手の創出 (集落で選んだ担い手への農地集積を進める)</p> <p>【福島県復興計画の記載】</p> <p>(3) 新たな時代をリードする産業の創出</p> <p>④ 産業の再生・発展に向けた基盤づくり</p> <p>農業の持続的発展と農家が意欲とやりがいを持って営農できる環境を整えていくため、農用地の利用集積と一体となった農地整備事業をはじめとした農業農村整備事業を推進する。</p>					
当面の事業概要					
<平成 27 年度> 事業計画策定					
地域の帰還環境整備との関係					

本地域は昨年4月に避難指示解除を受けた区域に隣接した区域であり、田村市復興ビジョンに位置付けられた「農林業における新たな担い手の創出」を達成するためには、本事業の導入により昨年4月に避難指示解除を受けた区域と一体的に田村市全域で実施していく必要がある。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

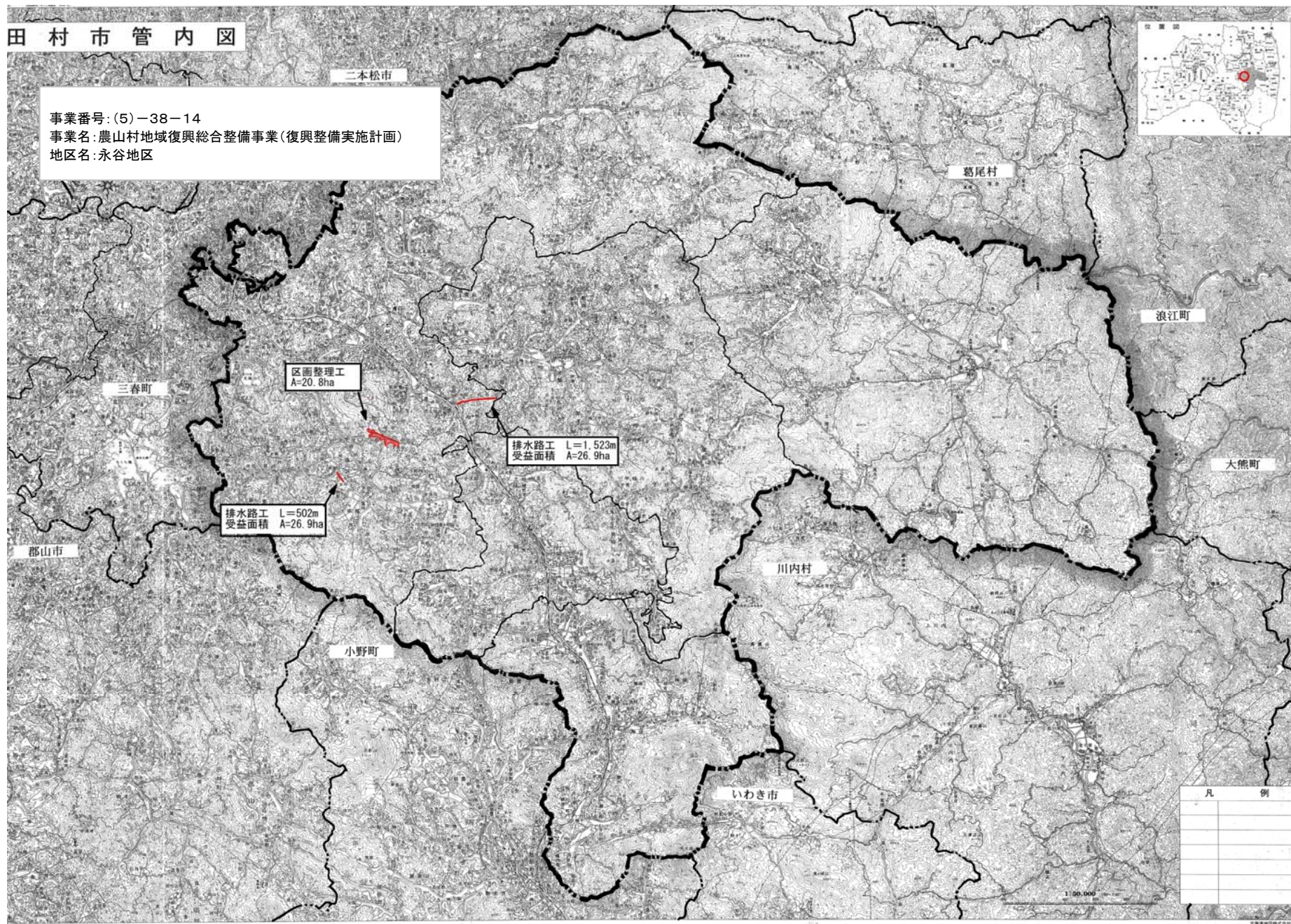
事業番号	
事業名	
交付団体	

基幹事業との関連性

--

田村市管内図

事業番号: (5)-38-14
事業名: 農山村地域復興総合整備事業(復興整備実施計画)
地区名: 永谷地区



凡	例